

EVENT MARKETING 81

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL.03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

特別企画
「沖縄 MICE のいま」
公益財団法人沖縄県産業振興公社
古波蔵純一 さん



只今、支度中



今回、特別企画として取材した「沖縄 MICE のいま」は2月21日・22日に行なった。21日は沖縄県のまん延防止等重点措置期間がちょうど明けた日で、この日に初日を迎えた「FOOD STYLE Okinawa」(写真)の会場には「これからいよいよ忙しくなるぞお」とばかりに、飲食店や食品関連のバイヤーが、食の逸品や DX サービス、SDGs の取組みな

どの最新情報を熱心に探し、商談する姿があった。

また、この沖縄コンベンションセンターから徒歩圏には4月12日に開業するホテルができていて、什器が搬入され、準備も大詰めで迎え入れるのを待っていた。

ほかにも、eSports 大会を誘致したホテルでは、運営スタッフのアルバイトで参加した

男子高校生が、終わった後、この大会の仕事を紹介してくれた同ホテルの社員の親戚宛に、普段の言葉遣いにはない、丁寧に長いお礼のメッセージが届いたという。てっきり、eSports のプレイヤーに関心があったのかと思い聞くと、大会を仕切る舞台裏の方に興味を持ったそうだ。その彼が MICE という言葉を知っているかはわからないが、沖縄では、小

中学生向けに「MICE とはなんだろう？」というイラストで説明したパンフレットが作成されている。観光業と一緒にたにせず、特化した分野があると思うことで、選択肢が一つでも増えれば嬉しい。

2日間で、少しずつではあるが回復をみせる MICE 需要や、受入に向けた体制が着々と進んでいる、その足音を聞くことができた。

オンライン でも オフライン でも、

**ビジネスイベントのお悩みは
イベントレジストにお任せください!**



申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



ビジネスイベントの実績多数

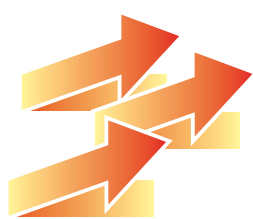
- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



イベントレジスト株式会社
https://eventregist.com

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com





イベントのファシリテーター 「会場」の存在価値

イベント会場は、専門施設でMICEそれぞれの目的に適応した機能を持っているだけでなく、街とのコミュニティのハブ的存在になる重要な役割も持つ。

街とイベントの連動性を考え、人と人、社会とテーマをつなぐマッチングメーカーであり、コンテンツによって地域のブランドをアップデートできる存在だ。

会場の取組みなどから改めて会場の存在価値を考える。

今回の特集では、建設予定・新規開業する会場情報と、トレンドとして、会場の取り組んでいる新たなチャレンジについて紹介する。

2p: 新設・リニューアルの動き

・アクセスサッポロ
・ポートメッセなごや
・梅田サウスホール

3-5p: 会場の新たな取組み・サービス

対談: マグネットスタジオ×博展

トレンド:

・ミーティング スペースAP
・東京ポートシティ竹芝 ポートホール／ポートスタジオ
・東京ミッドタウン ホール&カンファレンス(六本木)
・EXX LAB
・東京ビッグサイト
・Aichi Sky Expo
・インテックス大阪
・東京流通センター
・GBAC STAR™認証プログラム

アクセスサッポロ

月寒グリーンドームの跡地に後継施設計画



新展示場のイメージパース
(仮称)新展示場整備基本計画(案)より

2026年開業を目指し札幌市が、アクセスサッポロの後継施設となる、新展示場整備基本計画を作成。建設費153億円で、1万㎡と5000㎡の、無柱の展示ホールを備える。1984年3月に開業し展示面積5000㎡のアクセスサッポロは、老朽化や8割を超える施設稼働率による新たな展示会需要への対応などの課題があり、新施設はそれらの解消策として期待される。今年3月にパブリックコメントを実施。新年度にPFI/PPPといった実施方針などを決定する。

ポートメッセなごや

新第1展示館が10月に開業 アリーナ活用も



ポートメッセなごや新第1展示館 プリッジからのアプローチ

現在の第1展示館が6月末日に閉館し、10月に新第1展示館とコンベンションセンターが開業する。新第1展示館は約20,000㎡の無柱空間の展示ホール。床積載荷重5t/㎡、搬出入口8か所、可動間仕切りによる分割利用と、展示場として高い機能をもつ。また大梁下の高さが20m、吊荷重1点最大1000kg対応で移動観覧席を備え音楽系イベントのアリーナとしても活用できる。10月1日の開業式典のほか、さまざまなリニューアル記念事業が企画されている。

梅田サウスホール

5月9日に開業 JR大阪駅徒歩3分



梅田サウスホールのホワイエは641㎡と広く、自然光が入る開放的な空間で展示商談ブースや、パーティーなど利用ができる

「梅田サウスホール」(大阪・北区)がいよいよ5月9日に開業する。

阪神百貨店(阪神梅田本店)が入る大阪梅田ツインタワーズ・サウスの11階に、大ホール882㎡・ホワイエ641㎡(写真)・小ホール180㎡をもつ多目的ホールとして展開。JR大阪駅徒歩3分で、大阪梅田各ターミナルと地下直結のアクセスとなる。

梅田サウスホールの運営は、ハービスホールを運営する阪急阪神エスレート・サービス株式会社が行う。

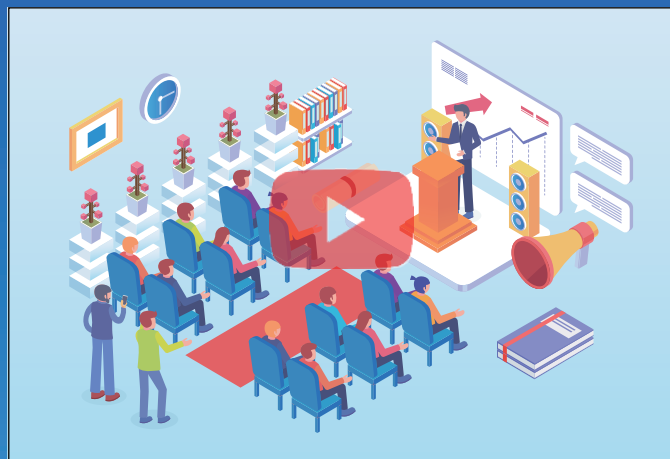
NISHIO

RA(イベント)部門の
新しいWEBサイトが
OPENしました!!

<https://www.nishio-rent.co.jp/rentall/>

イベントの成果を 最大化する

イベント・アーカイブス



取材 記事作成 写真撮影 動画撮影 ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは

株式会社 MICE 研究所

〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 5F

TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp

<https://www.event-marketing.co.jp>

対談 マグネットスタジオ × 博展

オンライン+リアル=新しいイベントのカタチ

リアルイベントに回帰する時が近づいている。新しくなるイベントのカタチについて、企画制作会社と施設運営会社の立場から語ってもらった。

——長く続いたコロナ禍でしたが、現状は？

萩原 ビジネスイベント、とくに展示会はいよいよ再開してきています。

三輪 BtoB イベントのオンライン領域にもサポート範囲を拡大したため、さらにビジネスイベントの比率が高くなっています。

萩原 こちらの有明セントラルタワーホール&カンファレンスは東京ビッグサイトが見える位置にあるのですが、大規模展示会が実施され、私どもの施設でも中小規模の展示会や企業のプライベートショーが増えてきました。

三輪 大型展示会は、リアル開催するかどうか主催企業・団体や行政の判断に任せられます。各企業が判断するよりは、主催企業・団体や行政の判断に委ねられるので、企業としては参加しやすいですね。

萩原 カンファレンスの主催者には、リアルイベント以外の選択肢があるので、再開が遅れたという面もあるようです。

三輪 マーケティング領域の川上からの支援をすることが増えました。リアル会場の人数制限もあり、ただ多くの人を集めるのではなく、戦略に合うターゲットを絞った集客をするようになっています。

GBAC STAR™ 認証などリアル開催の説得材料を

萩原 弊社は代表の蘭田が陣頭指揮をとり「Don't Stop Events」キャンペーンとして、さまざまな感染対策を整え、リアル開催のために活動してきました。企業のイベント担当者はリアル開催を望んでいるのですが、上層部を説得する材料が必要ということで、GBAC STAR という感染症予防対策のグローバルな認証プログラムに着目しました。

三輪 企業プロモーションを支援する会社としては、権威性のある第三者による認証が提案に盛り込めるのはありがたいですね。

萩原 事務局がアメリカ、8施設同時申請で大変でしたが、イベント演出も行うサクラインターナショナルさんがサポートしてくれたこともあり、昨年9月末に取得できました。

プログラムを実施している ISSA は洗浄業界の団体で、薬剤の根拠については厳格です。しかし、「これをしなさい」という決まりがあるわけではなく、私たちがどういう取組みをしているか、その根拠となっている行政の基準などを説明していくものでした。認証では、そのプロセスの実行方法、組織内のチェック体制を明



萩原 通友 (はぎわら・ゆきとも)さん
株式会社 マグネットスタジオ
カンファレンスマネージャー

2006年、株式会社マグネットスタジオに入社。以来、都内6施設の立ち上げに携わる。現在は有明セントラルタワーホール&カンファレンスの責任者として従事。「GBAC STAR™ 認証」を8施設同時取得の責任者も務める。

三輪 陸 (みわ・りく)さん
株式会社 博展
EXMユニット#1 アカウンスーパーバイザー

2012年、株式会社博展入社。「新規顧客獲得」や「ロイヤリティの向上」、「ブランディングの確立」、「売上拡大」など目的や課題に合わせ、会場選定、事前施策、空間デザイン、会期対応、設営撤去、事後施策などを提案、サポート。

文化することを重視しています。

三輪 最近は顧客からの提案要望書には感染症対策の費用を含むようになっており、根拠のある基準があれば、説明しやすいですね。

オンラインを経て進化するリアル会場と人

萩原 オンラインやハイブリッド開催にあたって会場に求めるのはどんな設備ですか

三輪 映像機器や配信機器は最低限のものがあればいいと思います。マイクやプロジェクター、スクリーンなどリアルイベントでも使う機材は高性能なものが良いです。そしてなにより通信回線が配信にもっとも重要です。

萩原 通信環境はどの会場でも整備しています。この有明では NURO の専用回線のほかに NTT 回線も用意しており、万一のトラブルにも対応できるようにしています。また、設備だけでなく、運営スタッフの“人の力”が当社の売りですが、オンライン化によって、イベントの運営やコンテンツにも興味をもつ社員が増えたのは大きなメリットですね。

三輪 弊社でも良い効果がでています。新しいことをやるため、教え合うことが多くなり、ベテランと若手の壁がなくなりました。

萩原 御社と私どものように会社の枠を超えて知見を出し合うことが、新しいイベントのカタチをつくるために必要だと思います。

マグネットスタジオは8施設で「GBAC STAR™ 認証」を取得しております。

都内13のイベント施設を運営するマグネットスタジオは、8施設で感染症対策の国際水準である「GBAC STAR™ 認証」を取得しております。当社はコロナ禍において「Don't Stop Events」を掲げ、パンデミックの状況下でも安心安全にイベントを開催していただける環境をご用意いたしました。



MAGNET STUDIO
SPACE MANAGEMENT / PLANNING

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。



飯田電機工業株式会社

<http://www.iidae.co.jp/>

□ イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21
TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
□ 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 幕張ビル
TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
□ 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F
TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
□ 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル
TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
□ インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-10-10 インテックス大阪内
TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
□ 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル
TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
□ 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F
TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7
TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827



GBAC STAR™
FACILITY Accreditation
SERVICE Provider Accreditation

入口
1



サクラインターナショナル
明るい
NEW Normal 方面

世界で4,000以上の施設が取得済み
感染症対策に関する施設認証

- 認種証機関との綿密な打合せ
- 各申請フォーマットのご提供
- 国内13施設の取得実績

短期間取得を
積極サポート



SAKURA International Inc.
サクラインターナショナル株式会社

<https://gbacstar.sakurain.co.jp/>

「ミーティング スペースAP」ノウハウをピボット

BtoB向け体験会を 子供向け職業体験にリメイク



AP東新宿で開催された「子供たちの夏休み自由研究『オンライン配信って?』」。ニュース番組のお天気コーナーを体験するワークショップを実施した

昨年8月1日の日曜日、地域のハンドボール教室でコーチをしている清水拓志さん（株式会社TCフォーラム 営業推進部）は、夏休みの宿題について子供たちとの会話から閃いたアイデアを、翌朝、社内チャットで「APオンライン」（2020年6月に編成された配信専属チーム7名）を含む29名のメンバーに投げかけた。9時41分に清水さんが送るとすぐに反応があり、コンテンツや運営方法は次々に具体化されていく。19時40分にはメインビジュアル付きフライヤーの初稿を展開、その日のうちにイベントページが立ち上がっていた。

2日後にはリリースを配信、集客には子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」に告知を掲載、MAツールで会場利用者にもメール配信を行い、2週間と4日後の8月20・21日に「子供たちの夏休み自由研究『オンライン配信って?』」という自主企画イベントとして主催している。

TCフォーラムは関東・関西・東海エリアに19の貸し会議施設「ミーティング スペースAP」を管理・運営する。今回、発案から実施まで流れるようなスピードで展開されたが、実はBtoCの子供向けイベントは初めての取り組みだったという。



清水 拓志さん
株式会社TCフォーラム 営業推進部
（「AP東京丸の内」にて撮影）

ちびっ子アナウンサー体験！

オンライン配信ワークショップ
@ AP 東新宿



ワークショップ開催
当日の風景

ミーティングスペースAPはオンライン配信の機材が整った施設です。「テレビみたいな合成」ってどういう仕組みなの？「天気予報アナウンサー」みたいなことをしてみたい！「大型スクリーンで配信内容」を見てみたい！「遠くで暮らすおじいちゃん・おばあちゃん」に見てもらいたい！などなど、オンライン配信には様々な可能性があります。当日はみんなにアナウンサー、カメラマン、リポーター、オペレーター等をやってもらいますので楽しみにしてください！
<子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」より>



ワークショップでは配信について学ぶ座学も

「約2年BtoB向けオンラインイベントの場数を踏んできた配信専属チーム、マーケティングチーム、施設運営チームの連携による組織力を再認識しました。実際にイベントで子供たちの楽しんでいる姿って、スタッフのエネルギーになるんですね」（清水さん）

グループ会社で会場運営をする同業メンバーからも「なにこれ面白そう!!!」と上々の反応があったという。「CSR活動の一環にもなれば」と話す清水さん。新たなチャレンジは周囲に化学反応を起こしてくれそうだ。

東京ポートシティ竹芝ポートホール/ポートスタジオ

eSports 大会企画・運営に初トライ

「東京ポートシティ竹芝ポートホール／ポートスタジオ」では、2020年9月のオープン以降、会場の特徴である“壁一面のスクリーンで大迫力の映像演出”を活かしたオンラインライブやプレゼンイベントが実施され、主催者のリピート利用も増えてきた。「エリア特性を考えた時、国家戦略特区としてITを推進する竹芝は、未来を感じるようなコンテンツを核とするビジネスが集積する街です。その体験を届ける象徴的なイベントとしてeSports開催の構想は前々から持ち続けていました」と、初瀬広壮（株式会社インフィールド）さんは、街×コンテンツ×会場の相性をeSportsに見出し、アプロー



「VPG JAPAN 全日本eSportsサッカー地域対抗大会」は「有吉いゑeeee!」（テレビ東京）収録にもつながった

チしてきた。

具現化したきっかけは「東京eスポーツフェスタ2021」への出展で、FIFAを中心に各種eSports大会を企画・主催するVPG Japanとの出会いがあり実現したもの。

今回、企画・運営したのは「VPG JAPAN 全日本eSportsサッカー地域対抗大会」（9月）と「同後夜祭」（10月）で、2部構成で、当初はVPG Japan初のリアル開催を望んでいたが、コロナ禍でオンライン開催に切り替えて実施。会場ではゲストがスクリーンの前で解説やトークを繰り広げた。

「自分たちで主催、企画、運営の一連の流れを実施できたことで自信を持ってeSports大会を迎えることができます」（初瀬さん）



初瀬 広壮さん
株式会社インフィールド
東京ポートシティ竹芝ポートホール/ポートスタジオ担当

東京ミッドタウン ホール&カンファレンス(六本木)

“経年優化”のイベント施設

東京ミッドタウン ホール&カンファレンス（六本木）では毎年施設のアップグレードを行っている。コロナ禍においては安心してイベントを開催いただけるよう、感染対策に注力。2021年3月には国際的な衛生基準を満たしたことを証明するGBAC STAR™ 認証を取得した。また配信イベントのニーズに応えるべく、最大速度2Gbpsの安定したインターネット回線（NURO Biz）を増設し、無料で提供。ここ2年間、数多くの配信イベントが実施されており、経験豊富なコーディネーターがイベント実施をサポートする。さらにレーザープロジェ



赤坂方面のビル群を背景にした配信もできる

クターやテーブル等の機材・什器類もアップグレード。リアルイベントにおいても高品質な環境を提供している。



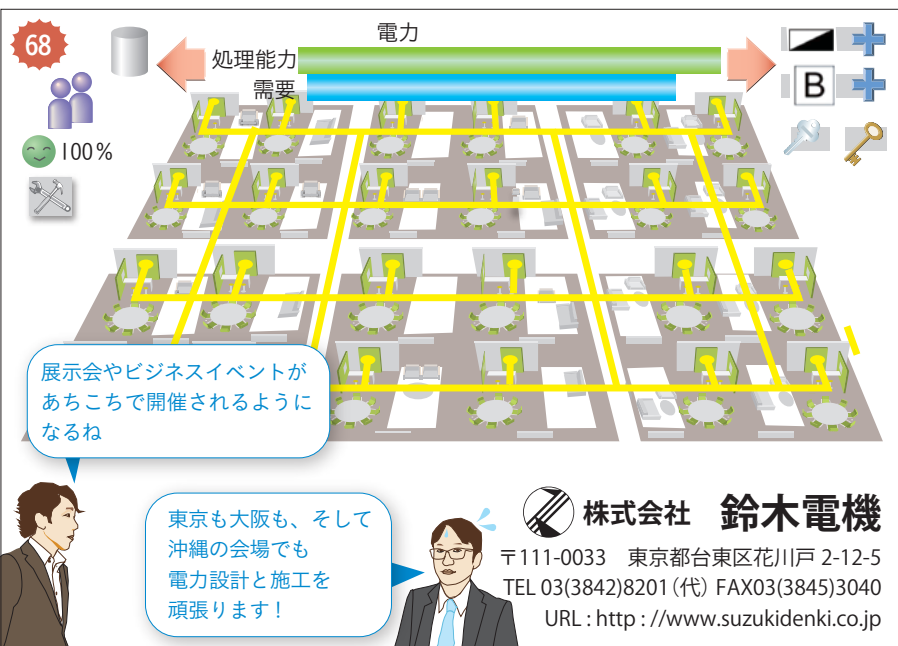
“安心感”は妥協できない

ハイブリッド型イベントスペース



「AP オンライン特設サイト」公開中！

ミーティングスペース AP



EXX LAB

体験価値をアップデート ゆる〜く議論

3月9日、朝8時から、EXX LAB（エックス・ラボ）主催の「第一回 ASAKAI」が虎ノ門ヒルズ森タワーのカフェで行われた。

虎ノ門ヒルズフォーラムを運営する森ビルを中心に有志で活動する EXX LAB は、「体験価値のアップデート」をテーマに具体的なプロトタイピングを通じて多様なイベントの変革を目指す「実践型ラボ」。

実証実験の第一弾として、今年1月18日から20日までの3日間、虎ノ門ヒルズフォーラムで「KEEP IT REAL：β」を開催したばかり。第一回 ASAKAI には、「KEEP IT REAL：β」に参加した8名と EXX LAB メンバーが集まり、振り返りをした。

「モノを買う、無為に時間を過ごす場ではなく、対話や交流があって、違うものを手に入れる場所と感じた。横展開の可能性もありそう」、「地域のモノづくりの方がいらして、開催地・虎ノ門の老舗の方とも交流ができてコラ



EXX LAB主催の朝ミーティング「ASAKAI」

ボ商品を生むなど、開催地の方とも関われる仕組みがあるとより面白そう」といったアイデアが展開された。

参加動機は「これまでの枠に囚われないつくり方で空間の使い方を考えたかった」「モノづくりの会社だがモノを超えて一つひとつのあり様に意味を見出すにはどうしたら良いかヒントをみつけない」とそれぞれ。

ASAKAI は定期開催を予定している。

東京ビッグサイト

青海展示棟の解体 公式Twitterで発信強化も

昨年11月に営業を終了していた東京ビッグサイトの青海展示棟の解体が、3月末に完了する見込み。青海展示棟は東京ビッグサイト東展示棟が東京2020大会のメディア施設利用による展示面積減少を補う仮設展示棟として4月1日に開業した。

東京ビッグサイトの公式Twitterでは、解体工事の様子を発信。「青海展示棟の解体が着々と進んでいるようです。今までありがとう」という投稿に、1300件以上のリツイートと1600件以上のいいねがついている。

東京ビッグサイトではTwitterを活用したSNS情報発信を強化している。

昨年9月の東京2020大会後、展示会再開に合わせて、主催者、出展者、来場者向け情報発信を強化。また、コロナ禍でも安心・安全に展示会が開催され、その盛り上がりを伝えている。これまでの(株)東京ビッグサイトのCSR活動中心の情報に加えて、新しくリアルタイムで開催されている展示会情報、会場



解体工事のようすを紹介した投稿(東京ビッグサイト公式Twitterより)

内サービス、レストランのご案内などお客様にとって有益な情報を毎日配信している。営業部と広報課の若手女性スタッフが連携してツイート担当。自前で動画を撮影したり、反響を見ながら日々工夫を凝らしてツイートしフォロワー数が1.3万人に増えている。

Aichi Sky Expo

感染対策と食品の認証取得



感染対策の2つの認証を取得

インテックス大阪

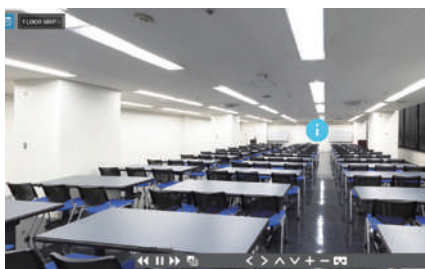
SDGsテーマの主催者企画も



12月7日・8日に「MICE EXPO 2022 in Kansai」を開催

東京流通センター

ワンストップで配信会場の実績増やす



TRCのサイトでは360°ビューで会場を視察できる

サクラインターナショナル

GBAC STAR™認証取得をサポート



施設の認証費用は定員1人0.3ドルから*最低500ドル

愛知県国際展示会場は昨年8月31日にAPAVEグループの認証「SAFE & CLEAN」ラベルを取得した。Covid-19に関連するリスクを管理・予防策、イベント再開のための設備とその機能の確認、コロナ下での作業組織と自粛時の適応、従業員への訓練とコミュニケーションなどの条件をクリアした。また、館内のフードコートでは、感染防止対策(50項目)をクリアした愛知県内の飲食店に与えられる「ニューあいスタANDARD(あいスタ)」認証も取得。安心して展示会やイベントを開催できる環境を整備している。

インテックス大阪を管理・運営する(一財)大阪国際経済振興センターは、大阪観光局などと実行委員会を組織し12月7日と8日に「MICE EXPO 2022 in Kansai」を初開催する。「MICE 業界の再起動と活性化」をテーマに、ポストコロナの新しいイベント運営の形態や技術が集結。展示会だけでなく複合的なMICE開催ニーズに応える。会場管理事業にとどまらず、イベント業界を盛り上げるため展示会を積極的に実施している。

浜松町駅、羽田空港からの好アクセスの東京流通センター(TRC)。2つの展示場に隣接するカンファレンスルームで、配信会場としての実績を増やしている。小さきさまざまなタイプの部屋から適切な広さの会議室が選べるのがその理由の1つ。また構内に拠点を構える映像会社と提携しており、配信機材の手配、設営、当日の運営、ネット回線工事等、イベントの開催までに必要な業務を、すべて依頼するのも可能だ。初めての配信でも、プロによる高品質な映像配信が可能になる。

国内外のイベントやMICE運営をサポートするサクラインターナショナルが、GBACの日本代表として各社の認証取得をサポートしている。GBAC STAR™認証プログラムでは、清掃・消毒のエキスパートが20項目にわたる申請内容を感染症対策や環境衛生のエキスパートが審査する。サクラインターナショナルは自社で取得した経験やイベント運営の知見を活かし、取得を支援する。日本で認証取得した40施設のうち13施設のコンサルティングを行っている。



沖縄初上陸の展示会も 「FOOD STYLE Okinawa」

「沖縄の食を全国へもっと! 全国の食を沖縄にもっと!」をコンセプトとして初めて開催された「FOOD STYLE Okinawa2022」。会期初日の2月21日は、沖縄県のまん延防止等重点措置実施期間が明けた日とちょうど重なり、「来場者に来ていただけの心配だったけど…」という懸念を吹き飛ばすほど、多くの来場者で賑わっていた。マスク越しでもわかる大きな笑顔で来場者と商談する出展者のようすから、ニーズの高さを体感する。結果的に、全国は北海道から沖縄まで24都道府県から148社の出展、2日間で4,985人の来場と盛況のうちに初回を終えた。

「FOOD STYLE」の展示会主催会社（所在：東京）である（株）イノベントは毎年、東京・大阪・福岡に

て「FOOD STYLE」を開催しており、久保田郁子さんは、沖縄の食分野の地場産業と市場性について「未開拓な沖縄食材との出会いや、観光リゾート向けの食材提案を求めるニーズは高いエリア」「物流のハブ化を推進する沖縄はアジアの玄関口としてアジア圏向けの販路開拓の地」と話す。商売取引の場として、輸送期間やコスト、県外からのバイヤー誘致など課題はあるが、継続した展示会開催を見込めると手応えを感じていた。



沖縄コンベンションセンターで開催された「FOOD STYLE Okinawa2022」



〔顔写真上段左から〕
（株）イノベント久保田郁子さん、
（株）ロワジュール・ホテルズ沖縄
與世山理絵さん（左）・平田実さん
（右）〔2段目左から〕（株）プリ
ンスホテル比嘉誠さん、（株）日本旅
行沖縄林寿一さん（左）・漢那元基
さん（中央）・西澤嘉洋さん（右）〔3
段目〕（株）アイレント宮良哲志さ
ん、〔4段目左から〕（一財）沖縄県
環境科学センター岩村俊平さん・
赤嶺匠さん
〔顔写真真右〕
（公財）沖縄県産業振興公社 古波蔵
純一さん
＊役職略

問合せ
公益財団法人沖縄県産業振興公社
Tel:098-894-6317
Mail:tenji_sougou@okinawa-ric.or.jp
担当:古波蔵純一（こはぐら じゅんいち）



沖縄は、MICEを推進する県として国内でも早く取組み、リゾート性を強みに非日常感を提供するインセンティブ旅行やコンベンションを誘致している。MICEの中でもMICEの印象が強い沖縄だが、E（展示会、イベント等）の誘致にも積極的に取り組んでいる。今回、沖縄初開催の展示会や大型MICE受け入れ環境の整備、新たな取組み、コロナ禍での対策など、沖縄MICEのいまを取材した。

大型MICE受入体制整う 沖縄市・宜野湾市に新風景

大型MICEにも対応 沖縄アリーナ



2021年3月に完成した「沖縄アリーナ」

「沖縄アリーナ」は、“通りすがりの街”であった沖縄市の発展のため、スポーツ・エンターテインメントに特化した施設として2021年3月に完成した。国内最大のメガビジョンや360度のリボンビジョンなどの最新演出設備、30部屋のスイートルームや専用ラウンジなどホスピタリティ設備の充実が特徴となっている。

バスケットボールBリーグ「琉球ゴールデンキングス」のホーム会場

のほか、コンサート・コンベンション等の大型MICEにも対応しており、YOYO-MAコンサート、RIZIN、バスケットボールアジア地区予選、企業パーティーなどの実績もある。今後

もFIBAバスケット男子W杯2023などの国際大会や、国内有名アーティスト（DREAMS COME TRUE、B'z他）のLIVE、企業インセンティブイベントなどが予定されている。

2022年4月開業

沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん

「沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん」は、宜野湾市の宜野湾港マリーナ前に、地上14階建て、全340室がオーシャンビューのリゾートホテルとして2022年4月12日に開業する。

沖縄コンベンションセンターから徒歩3分ほど。「沖縄コンベンションセンターでの学会などの大型MICEでは近隣のホテルとも分宿し、宜野湾MICE盛り上げていきます」と担当する比嘉さんは話す。



2022年4月に開業する

インフィニティプールと宜野湾をのぞむプールサイドホールは屋外にもスペースがあり、開放的な沖縄らしい懇親会・コミュニケーションが臨めそうだ。

ことは、主催者の選択肢を広げる手助けになる。県内事業者の新たな取組みも同様で、公社ではMICEに関わる人たちとの連携を心がけている。

「展示会・見本市・商談会など、主催者の抱える課題はさまざまです。『Resort Tech Okinawa』では来場者誘致のための県内外メディア招聘、「沖縄商談会」では地元企業の出展者を増やすため県内事業者向けPRとして県内メディアへの周知を実施しました。広報支援や開催支援、出展案内まで、一つひとつ、ゴールを共有しながら支援してきました。もちろん会場相談や市場ニーズヒアリングにも対応しますので、お気軽に問合せいただきたいと思います」（古波蔵さん）

沖縄県では「沖縄の観光リゾートの魅力」と「産業振興」の拠点となる大型MICE施設をコンセプトに本島東海岸に展示場（約一万㎡）を含むマ

リントウンMICEエリアの整備を目指している。

大型MICEの誘致は県内のMICE認知や開催効果の理解が深まる。

「人材確保・育成にもつなげられれば」と、沖縄MICE従事者の顔を思い浮かべながら、「新たな産業支援やMICE産業自体の成長に寄与する仕事」にやりがいを持ち、さまざまな関係者の声を傾聴する姿が印象的だった。

●沖縄県の主なMICE施設

沖縄コンベンションセンター	2,500㎡
万国津梁館	1,164㎡
沖縄科学技術大学大学院(OIST)	—
沖縄アリーナ	2,600㎡
中城港湾マリンタウン地区予定大型MICE施設(時期未定)	10,000㎡(予定)

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングと
オフラインを組み合わせて
販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー

▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして
異業種のトレンドを知り
講演会に活かしたい

IT企業向け マーケティングサポーター

▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わる
テクノロジーやツールについて
情報収集したい



特集

イベントマーケティングのトレンドを
国内外の事例や動向から分析し、
メーカー・イベントの
皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールや
テクノロジーの最新情報、
開催直前概況・
事後レポートなどを
紹介します。



コラム

幅広い視野と独自の視点、
経験をもつ
著名人が執筆します。



インタビュー

リアルコミュニケーションを
楽しくをテーマに
話題の方々ほか、インベーター、
イベントメーカー、
主催者の声を収録。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、
効果最大化の手法など、
face to faceを科学する
レポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所:株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp



沖縄MICEのいま

沖縄県では、観光分野とコンベンション分野を統合・一元化した官民一体型の推進母体として1996年に発足した（一財）沖縄観光コンベンションビューローを中心に、沖縄のリゾート性を強みとしたインセンティブ旅行や各種コンベンションの誘致を推進している。

そして、MICEの「E（展示会・イベント）」の誘致や支援窓口を担うのが、県内中小企業の経営支援等を担う（公財）沖縄県産業振興公社だ。両者は2017年に発足された「沖縄MICEネットワーク」の共同事務局として、MICEに関する勉強会の企画や共通した課題をテーマに議論を行う検討会を開催するなど、県内のMICE需要拡大に取り組んでいる。

「沖縄ではMICEに比べ、Eの開催が少ない状況にありますが、主催者の皆さんの要望に沿った支援を実施することを心がけ、情報交換を行ないながら次につなげていきます」（古波蔵純一さん／公益財団法人沖縄県産業振興公社）

古波蔵さんは3年前から展示会等誘致・支援の業務につき、沖縄県の産業動向や、企業情報と展示会を企画する主催者の市場ニーズとを掛け合わせ提案する架け橋としての役割を果たしている。例えば沖縄県では、アジア経済戦略構想として産業成長戦略に「農林水畜産業」「先端医療・健康・バイオ産業」「環境・エネルギー産業」「地場産業・地域基盤産業」を挙げている。公社では、こうした県内産業の成長ビジョンに合わせて誘致、開催支援に取り組んでいる。昨年は、東京の展示会主催会社エグジビションテクノロジーズ主催の「農水産業支援技術展（沖縄）」でハイブリッド開催の支援を行った。古波蔵さんは「エグジビションテクノロジーズさんは震災・防災に関する展示会



新たな取り組み

DX化に向けた対応で高付加価値提案も

世界大会レベルのeSportsを沖縄に

ロワジール・ホテルズ沖縄



「eSports BATTLE in OKINAWA 2022」(レーシング)

「eSports BATTLE in OKINAWA 2022」が1月、ロワジール・ホテル那覇で開催。賞金付きの大会で格闘・レーシング・自転車の3タイトルが同時に行われた。観光拠点再生計画として事業連携型で沖縄県内企業6社が参画したもの（プロジェクトおきなわ）。ロワジール・ホテルズ沖縄では、eSports世界大会参加基準を満たす通信速度の高速回線を宴会場に敷設、客室5部屋をゲーミングルームに改装し高付加価値化を図り、新たな観光需要を掘り起こした。計画を進めた平田さんと與世山さんは「チームビルディングのハイブリッド開催など、高速通信を活かした新たなMICE需要につなげたい」と話す。併せて、タクシーを活用した滞在期間中の定額制アクセスバスで沖縄文化体験機会の創出による市内回遊性の検証もしている。

ハイブリッド開催サポート事業開始

アイレント



「Tourism EXPO JAPAN」の会場設営も

個人から企業・ホテル・官公庁の行事や式典へのレンタル事業を沖縄で34年続けるアイレントでは、2022年4月から「ハイブリッド開催サポート事業」を展開する。MICEの相談や依頼は2000年開催の九州・沖縄首脳会合以降増え、2021年4月からは沖縄コンベンションセンターの舞台装置運営業務の請負を契機に運営にも関わるようになったという。

コロナ禍でMICE事業環境は厳しい状況だが、県では一定数実施されており、主催者調査ではうち45%がオンライン・ハイブリッド開催という結果でこの傾向は続くと思われる。「事業再構築の『ハイブリッド開催サポート事業』では、小会議室から劇場・大ホールまでカメラ、スイッチャー、モニター、スタッフのパッケージで展開します」（宮良代表）。

オンラインFAMツアーでおもてなし

日本旅行沖縄



沖縄MICE オンラインFAMツアー配信本部

日本旅行沖縄の法人営業部では、5000人規模の学会や2500人規模の団体全国大会など、多くの大型MICEの手配をしてきた実績がある。

一方で大型MICE案件はコロナ禍の2年でオンライン化が進み、リアル開催が激減。通常は約3年前から準備期間に入るが、現状、企業インセンティブ需要から徐々に回復する見込みだ。改めてゼロからアピールし、関係構築をし直す必要がある。そんな中、毎年実施の沖縄観光コンベンションビューロー主催「沖縄MICE FAM ツアー」はオンラインで実施。日本旅行沖縄では、映像配信の企画制作を行い、新規ホテル紹介やインスピレーションが湧く沖縄の非日常感をドローンを使いクオリティの高い動画で表現。400名の旅行会社のMICE担当者にアピールした。



持続可能なMICE開催を

沖縄芸能感染症対策PJ会議体

（一般財団法人沖縄県環境科学センター）

「コロナがはじまって、踊りも踊れないなら、死んだ方がましだ」

琉球舞踊の踊り手であるおじい、おばあからの言葉に「なんとかしなければ」と立ち上がったのが沖縄芸能感染症対策PJ会議体。2021年6月14日から有志で関係者を集め民間事業として始動した。これまで、公民館での舞踊やイベント会場でのプロ

レス興行など5回に渡って対策の検証を行った（2022年2月現在）。

持続可能なビジネスモデルとしての仕組みを作るため、無いものねだりせず、民間事業で展開。元々の着想は「お金がなくても安全安心に芸能活動ができる仕組みをつくりたい」という想いからはじまったもの。「地元の活動から芸能が生まれ、文化が



プロレス興行の感染症対策として次亜塩素酸水溶液を噴霧する様子。会場はJUNTO サイトにも登録されている沖縄市ミュージックタウン音市場

育つのではない、こうした一人ひとりの知財や力の集合体でMICEも成り立つのではないかなと思うんです」と、長い目で体制づくりを整えている。



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

SDGs 実行白書 - イベント編 / 映像

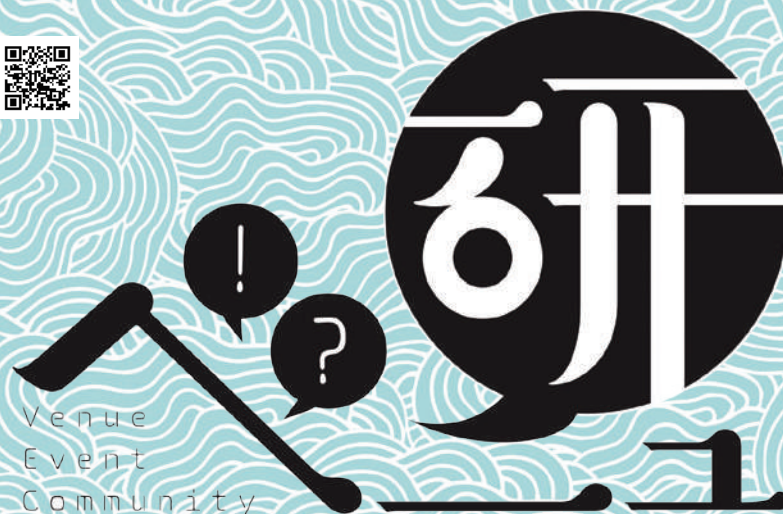
次の2022年4月30日号で特集します

サステナブルな私



5月31日発行 食こそイベント！ /
6月30日発行 オンラインイベントプラットフォーム
7月31日発行 人材・イベント業界の働き方
8月24日発行 BACKSTAGE / イベント会場
9月30日発行 エリア特集＜大阪＞ / IR とイベント

広告出稿の問合せはこちら ▶ 株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp （担当：田中力）



集い、交わる場（中規模スペース・ベニュー／イベント主催者）を企画・運営するひとたちが集まって、べちゃくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

公式キャラクターデザインが決定

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の公式キャラクターデザインの最終選考委員会が開催され、最終作品が決定した。応募作品1,898点から最終候補3作品が選ばれ、一般からの意見を参考に委員による選考が行われた。

公式キャラクターとなるのは、最終候補C、デザイナー・絵本作家の山下浩平さんが代表の「mountain mountain」の作品。ロゴマークと

「水の都」の水が一緒になることで、姿を変えられるというコンセプトになった。今の多様性の世の中から善き未来の姿をうつし出すという願いが込められている。

昨年決定した公式ロゴマークに続く、もうひとつの大阪・関西万博のシンボルとして、同イベントのさらなる周知と機運の醸成に広く活用される。愛称は4月下旬から公募され、夏ごろに決定する見込み。

—— 大阪・関西万博



VR・メタバース AI などイベントテクノロジーの発表

—— 第17回 MICE イノベーション研究会

3月14日、羽田イノベーションシティ内のコンgresクエア羽田で「第17回 MICE イノベーション研究会」が開催された。

今回は with コロナで、新しい MICE と施設のカタチを創造する技術や製品、ツールの実証実験、提案発表、展示・体験会が行われた。

また、経済産業省 令和3年度事業「展示会等のイベント産業の高度化事業（実証事業）」採択企業の成果発表会も実施された。

めっちゃバースやめっちゃイベントを提供する（株）ハシラスの安藤晃弘

社長は、コンテンツ×群衆＝感動という自社の理念を紹介。メタバースによるオンラインイベントが盛り上がり、に欠ける理由として、同じ空間に多くの人が同時に集まらないという技術的な課題をあげた。そこで同社ではアバターの解像度を下げる、個人情報収集しないなど、機能を限定することで、数千人規模が同時接続するプラットフォームを構築した。多様なメタバースを繋げる結節点としての役割をめっちゃバースが担うと意欲を見せた。

5社の研究会ピッチと7社の実証



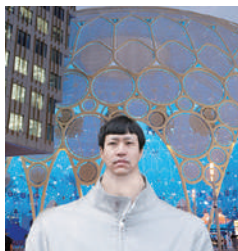
展示エリアでは来場したMICE関係者との意見交換が行われた。

実験の発表のほか、多くの企業の出展を通して、コロナ禍のイベント受難の時期に生まれた、さまざまなアプローチのイベントテックが見られた。研究会および新年度も継続する高度化事業に期待が高まる。



万博って、こんなに楽しいとは…

面白いものをつくり続けてきた人間花岡さん。大阪・関西万博開催決定前から万博の勉強会を実施したり、先日は EXPO TEAM CAMP を実施するなど、万博を盛り上げる活動をしてきた。今回、花岡さんがイベント企画者の視点で、ドバイ万博の日本館、サウジアラビア館、モビリティ館などを紹介。レポート内で花岡さんは、万博関連の活動をしているが、実は会場に来るのは初めて。まずは来て自分の目で見てみたいと説得力もアイデアもわからないというシンプルな考え。しかし来て良かった、現実味が増した。こんなに楽しい感じとは思わなかった、と率直な感想も述べていた。



花岡さん
株式会社人間 変なプロデューサー

1981年、大阪市天王寺区の鶴橋生まれ。無類の刃牙好きのため、「我が儘を通す力」でプロジェクトを進める。スタートレックのスボックのような髪型で、カメラを向けるとボケようとするが意外と繊細な心を持つ。未っ子なのに洋一。



月刊イベントマーケティングの公式 YouTube チャンネルでは、イベント関連のキーパーソンをゲストに招いて「コースケ・よーこのミューートを解除!」を毎週金曜日の12時から30分間お届けしています。3月のゲストは、3月4日オータパブリケーションズ岩本大輝さん、3月11日イノベント森嶋勝利さん、3月25日 conecuri 合同会社高橋龍征さん。

業界別 イベント動向

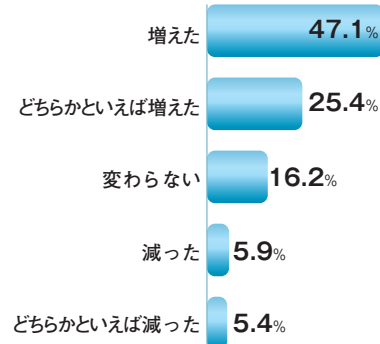
金融業界①

イベントに通じた情報収集意識高く



株式会社セミナーインフォ執行役員
プロモーション事業部 部長
丸山 陽平氏

COVID-19感染拡大前（2019年以前）と比べ、ビジネス系オンラインイベント（有料セミナーや無料フォーラム）への参加頻度について選択ください



金融機関意識調査概要
調査機関:2022年17日間
(2022年2月17日～2月28日)
調査方法:メールによるアンケート
回答数:425名
回答者属性(部署):法務・コンプライアンス26.4%、営業・サービス20.5%、経営・企画11.1%、人事・管理10.4%、IT・システム9.4%、リスク管理7.5%、商品開発・マーケティング6.1%、投資・運用4.0%、会計・財務1.9%、与信・融資1.2%、その他1.5%
回答者属性(役職):役員10.1%、部長30.6%、課長51.3%、一般8.0%

セミナーインフォでは、金融機関の本部主要部門の方々を対象としたイベントを受講料有料／無料問わず年間300本以上開催している。人口減少・少子高齢化の進展や低金利環境の長期化など国内金融機関を取り巻く状況が厳しい中、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化は、金融機関のビジネスに大きな影響を及ぼした。各金融機関では、新しい働き方を前提とした業務体制やビジネスモデルを構築し、金融サービスの変革を加速させている。

【2021年金融セミナー集客ランキングでは「法務・規制・リスク管理」が上位に】

昨年開催した受講料有料のセミナー集客ランキングでは、AML/CFT、個人情報保護法、コンプライアンスリスク管理等の「法務・規制・リスク管理」が上位を占めた。規制業種である金融業界は、各種規制対応やリスク管理テーマに対するニーズが高く、金融当局や監査法人、コンサルティング会社による講演に多数の方が参加した。

【金融機関のオンラインイベント受講ツールはZoomがトップ】

当社では、金融機関のイベント参

加実態を掴むため、2022年2月に金融機関向けアンケートを実施した。

調査結果では、ビジネス系オンラインイベントの参加頻度が2019年以前と比べて「増えた（どちらかと言えば増えた含む）」と回答した金融機関は72.5%に上った。また、「社外の会場で開催されるイベントへの参加制限の有無」について、参加制限なしと回答した方（54.1%）が、参加制限ありと回答した方（40.5%）を上回ったが、コロナ収束後のイベント開催形式について、「オンライン形式を望む」が55.8%となり、「会場参加形式を望む声」25.9%を上回る結果となった。さらに、オンラインイベントを受講する際に使用したツールではZoomが93.2%でトップ、続いてCisco Webexが54.1%、Microsoft Teamsが49.2%となった。

また、金融機関各社が情報収集ツールとして重要視しているもの（複数回答あり）では、新聞やニュースサイトを押さえ、上位に「外部主催セミナー」76.2%、「業界団体主催セミナー（各種協会等）」61.6%が続いた。金融業界はイベントを通じた情報収集意欲の高い業界だと言える。

今回は調査結果で明らかとなった金融機関のテーマトレンドや2022年のイベント開催動向を紹介する。

